

# つくも山

## 126回 士別まつり 祭灯が ほのかに照らす 息吹の輪

### 士別神社例大祭のご案内

宮 司 佐藤 元保  
祭典委員長 佐々木 隆博  
総代会会長 小林 一男  
令和六年度士別神社例大祭を次のとおり行います。

7月14日 宵宮祭 午後7時  
7月15日 御例祭 午前8時  
7月15日 御神幸式 神社発輿 午前9時

□ 渡御巡路図を6頁に記してあります。  
□ 駐輿祭 6頁記載20ヶ所

先 つくも太鼓奉納

次 祝詞奏上

次 代表者玉串拝礼

次 大國舞奉納（上富良野町 生出明臣氏）

7月15日 還御祭 午後5時

7月16日 後日祭並びにうぶこまつり 午前10時

□ 後日祭と併せ、赤ちゃんのうぶこまつりを行います。  
昨年4月以降から本年3月までに生まれて、まだ初宮参りをされていない赤ちゃんが該当します。

午前9時50分迄に社務所参集殿へおいで下さい。

※お祭後に、記念写真撮影・お守・守護でんでん太鼓・記念写真などをお授けいたします。





# 令和6年度 土別神社祭典委員会



祈る、継なく、ふるさとに

土別神社祭典委員長

佐々木 隆 博

土別神社祭は、明治三二年に屯田兵が入植し開拓記念標で七月一五日に入隊式を行ったのが始まりとされています。土別村と土別神社はともに一二五年の歴史を重ねてきたのです。

その後土別神社は明治三五年には現在地に「社」が建立され九十九に杜から私たちのふるさとを見守り続けてきたのです。歴史的に見ても、未開の地に入植された人々は「この地の安全と家族の無事」を願い最初に神社を建立し、「感謝と鎮魂を祈り、地域を繋げる地域文化」として発展してきたのではないかと推考されます。この度一二六回目の土別神社例大祭の委員長を務めさせていただくにあたり、改めてその歴史の重さと先人の方々によって受け継がれてきた祭典の深さを痛感しているところです。

佐々木家は初代磨が宮城県より入植、二代目父の則一は土別神社総代をご奉仕しています。私は昭和六二年北海道議会議員、平成十七年から衆議院議員として三四年間に亘り務めさせていただきました。平成二一年から二四年この間には農水副大臣として所得補償政策などに取り組んで参りました。これも偏にふるさとの皆様のお陰です。改めて感謝申し上げます。

いつの時代もふるさとのシンボルとして拠り所として神社があり、祭りに集い市中の平安と家内の安全を祈り、年に一度市民（氏子）が集うことにこそ意義があります。コロナ禍も落着きました、多少の規制はありますが、できるだけだけ沢山の大人にも子供たちにも祭りに参加していただけるよう祭典委員会一同で工夫し、私たちはこの歴史とふるさとを次の世代に継ないでいかなければならないとの思いを込めて取り組んで参りました。皆んなで祭りを楽しみましょう。

## 祭典副委員長



菅原 清隆  
(総務)



奈良 康弘  
(渡御)



片庭 隆暁  
(車輛)



喜多 武彦  
(設備)



穴田 俊昭  
(奉納行事)



金子 博之  
(接待)



阿部 昭  
(交通指導・警備)



寺島 義晴  
(子供神輿)



松下 義春  
(稚児)



安藤 英治  
(賽物)



山根 勝義  
(神社)



鈴木 啓二  
(広報・記録)



# 祭典篤志奉納について

故郷士別の開拓以来、五穀豊穡と商売繁盛、さらには市民の安全、市内平安を祈願する伝統ある士別神社例大祭も、本年度126回目を迎えます。

この例大祭は、コロナ禍時には各種行事等の中止・縮小により、大幅な見直しを行ってまいりましたが、現在もコロナ感染が収束に到っていない状況ではありますが、感染予防が大幅に緩和されたことを受け、祭典役員一同で本年の例大祭につきまして検討を行ってまいりましたところ、規模は多少縮小となりますが、稚児・子供神輿等の復活、加えて市内中学校吹奏楽の参加により、大人も子供も参加していただくことで、厳かに賑々しくさらには楽しく実施することいたしました。

つきましては、祭典費用の軽減を図り粛々と奮行することといたしました。が、行事を執行するにあたっては、浄財が必要となるため皆様方に篤志奉納金のご協力を依頼いたしましたところ、市内企業様他のご厚意により、多くの篤志奉納がありましたことに対し心より厚く感謝申し上げます。

本来ですと、広報誌「つくも山」にご芳名を掲載し謝意を表すところですが、誠に勝手とは感じますが割愛させていただきますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。礼といたします。

なお、この他各自治会様からも「祭典奉納金」のご協力をいただいていることをご報告いたします。改めて、皆様の温かいご支援に深く感謝申し上げます。ありがとうございます。

## お神輿さまを心をこめてお迎えしましょう

☆ ご神幸式は、常に郷土の平和をお守り下さる氏神様が、年に一度市内を巡り皆さんの生活をご覧になると共に、氏子が身近に神様をお迎えし、感謝の祈りを捧げるために行われます。

☆ 先ぶれの広報車が通って間もなく、お神輿さまが参りますので、家族そろって道端に出てお迎えいたしましょう。家族の平和な姿こそが、もつとも神さまが喜びになります。

☆ お賽銭、お供え物、お米などは、行列の前後から来る賽物車に納められるか、近くの駐輿所にお供え下さい。お名前をつけて下されば幸いです。

## 体育関係奉納行事

- 剣道大会  
総合体育館……………13日 19:00～21:00
- 柔道大会  
誠心館道場……………14日 17:00～19:00
- 少年弓道大会  
士別神社弓道場……………15日 13:00～16:30
- 子供相撲大会  
士別神社境内相撲場……………15日 15:00～17:00
- 奉納弓道大会  
士別神社弓道場……………16日 18:00～20:30

# 市民センター広場並びに太鼓・鼓隊等演奏

7月15日(月[海の日]) 10:00～16:00

道の駅「羊のまち侍・しべつ」駐車場



## スケジュール

### ●市民センター広場

- 10:00～16:00 ミニ縁日
- 11:30～12:00 天サイダー早飲み大会(先着15名小学生)
- 12:30～13:00 サイコロ出た目勝負(先着15名幼児・小学生)
- 13:30～13:50 ごっちゃん手品/パフォーマーショー(1回目)
- 15:10～15:30 ごっちゃん手品/パフォーマーショー(2回目)
- 15:30～16:00 誰でも輪投げ(先着20名)



### ●太鼓・奉納舞・鼓隊・吹奏楽演奏

- 13:15～13:30 「つくも太鼓」奉納演奏
- 14:00～14:15 「浦安の舞保存会」奉納舞
- 14:15～14:30 「士別幼稚園鼓隊」演奏
- 14:30～14:45 「士別南中学校吹奏楽」演奏
- 14:45～15:00 「士別中学校吹奏楽」演奏

※演奏時間については、多少前後する場合があります。









# 126回 士別まつり

明治32年7月、28県人からなる北海道最後の士別屯田兵勢揃いの13日夜半、百番目の家が焼け出される思いがけぬ災難、広がる動揺を静めようと名越源五郎中隊長は天照皇大神の木標を祀って、入隊式を挙行しました。

士別開拓の礎、士別神社ご創祀の日、7月15日は士別まつりとして伝えられ、今年は一・二六回目を迎えます。

当番区は学田と川西を含む南地区。一生に一度奉仕の祭典委員長には川西自治会の佐々木隆博氏、旭日重光章受章元農林水産副大臣が推薦されました。川西自治会からの委員長は平成14年の岩月清氏らしい二人目。4月6日就任奉

## 九十九山から…

◆1月7日二十歳祭を斎行、92人が参列、真白な雪の境内に華やきをもたらしました。  
◆1月15・16の両日は、松納祭、どんと焼き、正月飾り持参の参拝者が火入れから午後4時迄、次々と訪れました。  
◆九十九山を守る会、川副春夫会長は1月28日、本年も道立士別翔雲高校野球部渡邊雄介先生共々30余人で参集殿雪



告祭、第一回正副委員長会議、祭典事務所は参集殿二階に特設、各役員も決まりました。87回を数える御神幸式は6面記載の巡路で行われます。最終20ヶ所目の市役所駐輿所から社殿まで士別小僧会を中心に各地区みこし会により担ぎ神輿で宮入りが実施されます。令和元年いらい五年ぶりにお稚児さんは東1条1丁目から道の駅侍しべつまで徒歩行列、子供みこしは大通り1丁目から8丁目まで歩道を渡御します。浦安の舞、つくも太鼓、士別幼稚園鼓隊に加え、士中南中吹奏楽や相撲、柔剣弓道等の奉納行事もコロナ禍以前に準じ催されます。

おろし作業をご奉仕。守る会では4月27日折れ枝始末野外トイレ清掃等、春の奉仕作業に汗を流されました。  
◆2月3日は節分祭と65回福まきついな式30人の年男男女が奉仕、南北の社殿浜縁から福餅等景品三百本入り福豆餅など一万点が威勢よく撒かれました。  
◆3月3日、35回人形供養祭  
◆祈年祭、豊穰祈願祭は4月20日60余人参列奉賛斎行されました。姉妹都市提携25周年で来訪中の豪州ゴールバーンマルワリー市のピーターウォーカー市長ら14人も参列、直会で交流交歓を深めました。  
◆九十九山の桜は4月28日開花、季節はずれの暑さで3日には忽ち満開。4月中の満開は最速、初めてです。  
写真手前はキタコブシ  
◆職能守護神 聖徳太子を祀る境内聖徳神社祭は今年百一回目、奉賛会主催で5月19日宵宮祭、20日例大祭を斎行。  
◆5月、パリ五輪に向け台湾女子らウエリフチームが士別合宿(下の写真)、19日渡辺英次市長、右から二人目が引率、正式参拝に訪れました。  
◆境内古峯龍尾神社祭は6月13日火防鎮火豊稔を祈願して斎行されました。

□ 災難除厄 祓い 随時斎行 (先ずご連絡下さい)  
□ 結婚式は神前で! (出張挙式も同様奉仕)  
□ 新築増改築の時は、地鎮祭、上棟祭を!  
□ 引越しの場合は、新宅祭、家移清祓式を!  
□ 自動車、バイク、トラクター、重機、機械を入れた時は安全祈願入魂式を(お守呈)  
■ 神事諸祭事信仰生活上の種々のご相談は 電話またはFAXでお気軽にどうぞ <お誠い・ご祈禱のご依頼は>

**士別神社** TEL 23-2243 FAX 22-2553

社務所へ、一九八〇円(送料当社負担)

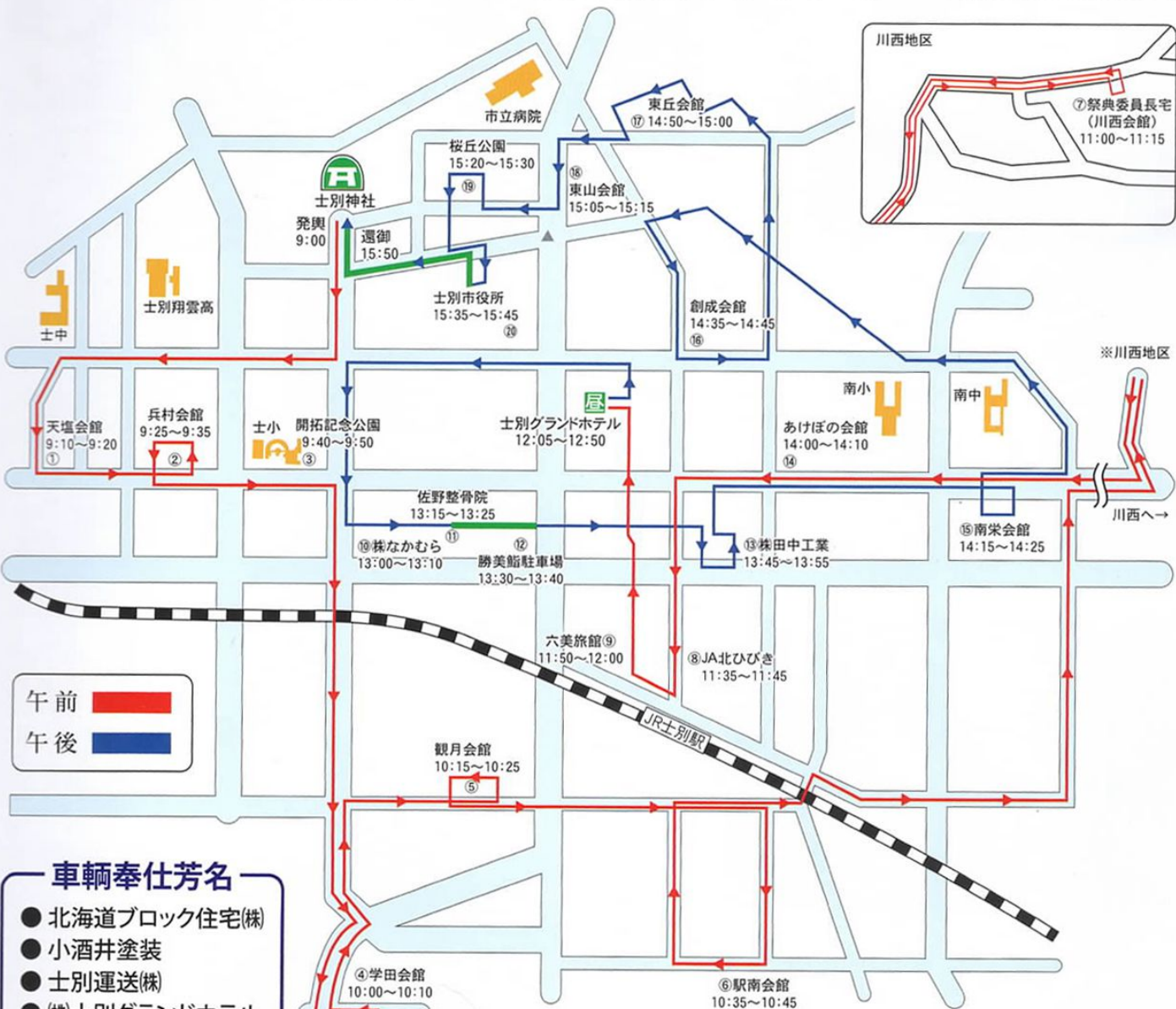
あな、たのし

佐藤 公聰





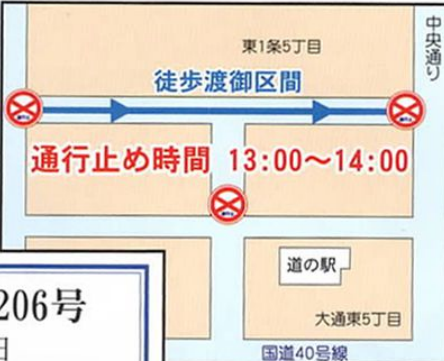
# 令和6年度 士別神社例大祭御神幸式巡路図



午前 ■  
午後 ■

## 車輛奉仕芳名

- 北海道ブロック住宅(株)
- 小酒井塗装
- 士別運送(株)
- (株)士別グランドホテル
- 共工電気工事(株)
- 小泉鉄工(株)
- 道北自動車学校(株)
- フジヤ住設(株)
- (有)佐々木車輛工業所
- (協)北部ガスセンター



## つくも山 第206号

令和6年7月1日

士別神社祭典事務所  
士別神社社務所

〒095-0008 北海道士別市九十九山  
☎23-2243・FAX22-2553

祭典広報係長 石川 正博  
祭典総務係長 都 研司  
印刷 斉木印刷株式会社

※7月15日(月)神輿の神殿宮入後(午後5時頃)、福餅を神殿前でまきますので、多くの市民の皆様のご参集をお願い申し上げます。  
士別小僧会

- ◎渡御にあたっては事故防止のため、関係者の指示にご協力をお願いいたします。
- ◎ご参拝は密接を避け、前後左右2m空けてお願いします。
- ◎玉串奉奠については、自治会代表者にてお願いします。

士別神社ホームページアドレス <http://shibetsu-jinja.jp/>